

1 回生 有岡大介さん (佐賀市出身)



企業と地域に、

元気と勇気と知識を

- 1987年 4月 弘学館高等学校卒業
- 1990年 4月 一橋大学法学部入学
- 1995年 4月 読売新聞西部本社入社
- 1999年 10月 サガテレビ入社
- 2007年 人間力大賞受賞
- 2016年 4月 ライフプロ出向
- 2018年 4月 ライフプロ取締役

(2019年2月現在)

地域のカンフル剤を目指し 報道の最前線へ

新聞記者を目指したきっかけは半年ほどのバックパッカー生活中、アフリカへ向かう飛行機でフリーのジャーナリストたちに出会ったことでした。“ソマリアに国連軍が上陸”歴史が動く場面を目にする記者という職業は、自分にいろんな経験と知識を与えてくれるに違いないと考えました。

阪神大震災の年に新聞記者となり、オウムや水俣病の裁判などに関わり、地元佐賀のテレビ局でニュースを担当してからはバスジャックや、アメリカ大統領選挙などさまざまな場面に立ち会ってきました。

一方で、今や閑散となってしまった商店街生まれの私は、どこかに根付いて世界のモデルとなる“いい”地域を作りたいと考え、障害福祉やまちおこしのイベントなどに携わってきました。

新商品の開発から販売 地域の企業のパートナーに

報道から営業、東京支社などを経験し、「そろそろテレビ局にも飽きたな」と思っていた2016年、関連会社への出向の話が飛び込んできました。

前職のテレビ局でもあまり類をみない、イベントやプロモーション、商品開発などを手掛ける会社です。アニメのコラボから、プライダルのカウンター、新しい商品の開発、飲食業、佐賀の新しいを発信するショップの運営、はてはエンディング、終活や農業まで取り組み始めています。

佐賀は技術や伝統などさまざまな宝物を持った企業が多数あります。その一方で、ITの波に流され、代替わり毎に力を失っていく会社も多いのが現状です。「一緒に稼ごましよう！」と声をかけながら、新しいビジネスを模索する毎日です。



2018年3月にオープンしたカフェ
(サガテレビ1階)

有岡大介さんのとある一日

- 8:30 出勤
- 10:00 社内会議
- 14:00 商品開発打ち合わせ
- 16:00 イベント打ち合わせ
- 18:00 レストラン確認
- 19:00 クライアント打ち合わせ
- 21:00 帰宅

後輩へのメッセージ

就職まではあつという事です。アルバイトも含めぜひいろんな経験をしてください。経験を得るための早急なプランニングをお勧めします。アルバイト、旅、各種イベント…学生の間にはかできないことがたくさんあります。2018年度はご縁があって佐賀大学で授業を手伝わせていただきました。2年生の学生さんたちでしたが経験を積むことに貪欲である人とならない人の差ははっきりしています。自分が成長できる道を確保していくことが楽しい社会人ライフのポイントと思います。